



CAN-Japan COP25報告会

# COP25に見る野心引き上げの必要性 ～パリ協定1.5°C目標をめざして～

WWFジャパン  
気候変動・エネルギーグループ長  
山岸 尚之

2020年1月14日（火）  
ビジョンセンター永田町 6Fビジョンホール

UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE

# 「失望」の理由

---

- 何に合意できなかったことがまずかったのか？



UN Climate Change Conference - December 2019  
Chile COP 25

22:00 BAKER | Hall 10

COP/CMP/CMA closing plenary



## エスピノーザ国連気候変動枠組条約事務局長の評価

*“We need to be clear that the conference did not result in agreement on the guidelines for a much-needed carbon market ..... High-emitting countries did not send a clear enough signal that they are ready to improve their climate strategies and ramp up ambition through the Nationally Determined Contributions they will submit next year.”*

- ▶ 炭素市場（市場メカニズム）に関する合意に至らなかったことを第1に挙げつつ、
- ▶ 大量排出国が、来年の国別目標（NDC）提出にむけて、野心引き上げの意志を示さなかったことを問題視。

(出所) Statement by the Executive Secretary of UN Climate Change, Patricia Espinosa, on the Outcome of COP25  
<https://unfccc.int/news/statement-by-the-executive-secretary-of-un-climate-change-patricia-espinosa-on-the-outcome-of-cop25>

## グテーレス国連事務総長が示した「失望」



António Guterres   
@antonioguterres

I am disappointed with the results of #COP25.

The international community lost an important opportunity to show increased ambition on mitigation, adaptation & finance to tackle the climate crisis.

But we must not give up, and I will not give up.

[ツイートを翻訳](#)

午後10:07 · 2019年12月15日 · [Twitter for iPhone](#)

▶ 「野心の引き上げを示す機会を逸したこと」を挙げている。



# COP25への「失望」の理由

---

n 6条（市場メカニズム）に関する  
合意未達だけではない

n むしろ「野心」強化のシグナル不足

# COP25の位置づけ

---

- 期待された2つの役割



# COP25への2つの期待

## パリ協定のルールブックの仕上げ

2015年 COP21 へ パリ協定採択

2016年 パリ協定発効

2018年 COP24 へ パリ協定の「ルールブック」に大筋合意

**2019年 COP25 へ 積み残した部分の合意**

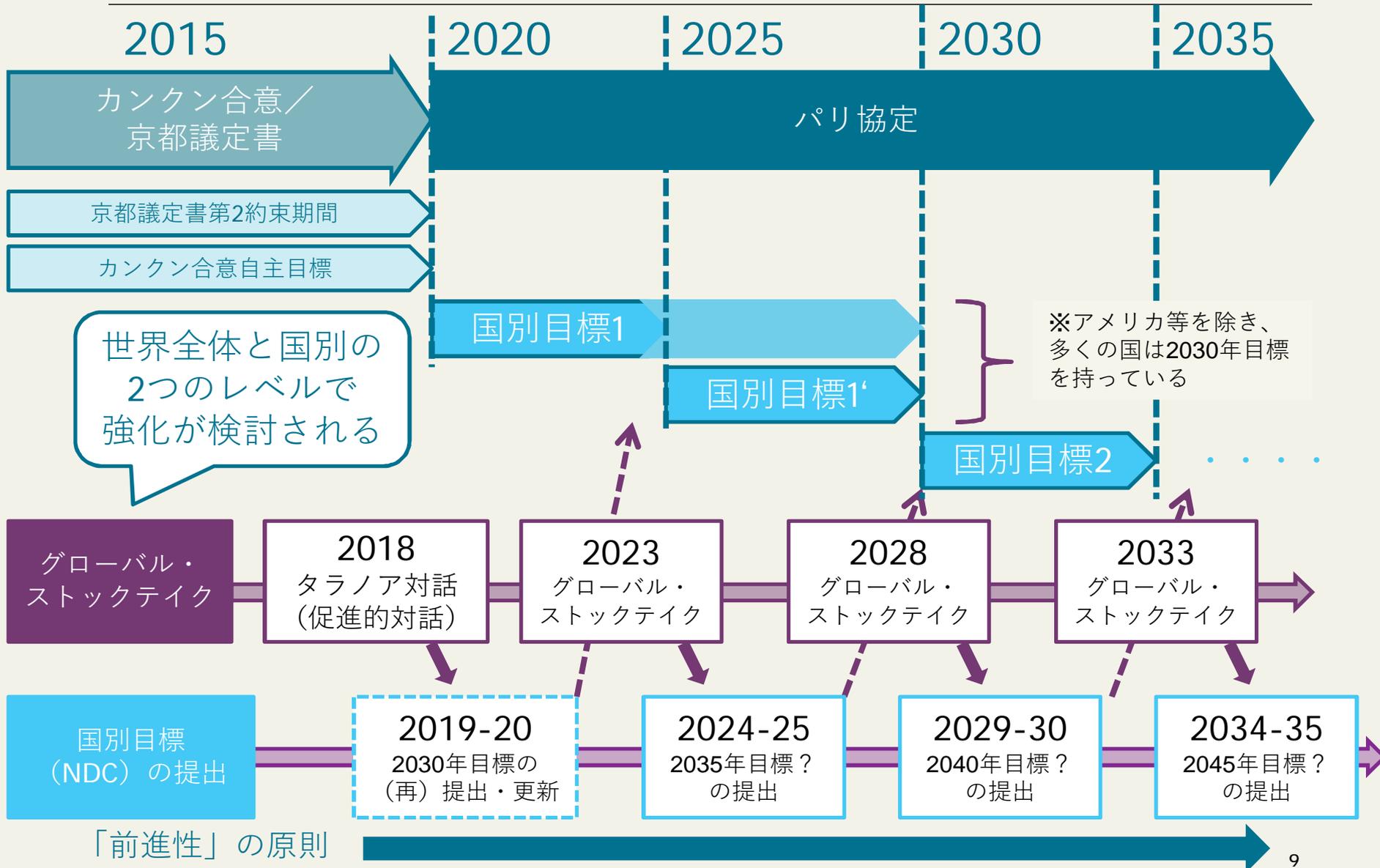
2020年 パリ協定の本格始動

## 国別目標（NDC）強化のメッセージを出す

- パリ協定には2つの5年サイクルが存在
  - 国別目標（NDC）を5年ごとに提出する（**2020年**、2025年、2030年、・・・）
  - それに2年先立って、世界全体での進捗確認を行い（2018年、2023年、2028年、・・・）、NDC改定に知見を提供する
- 2019年のUNEP（国連環境計画）のギャップ・レポートは、改めて、世界各国のNDCが不十分であることを指摘
- **2020年のNDC（再）提出前の最後のCOPで、削減目標強化のメッセージを出せるか？**



# 5年サイクルを通じた自己改善の仕組み



# 「野心強化」を求める声

---

- 会場の中でも、外でも上がった



**40% OF THE  
ANTARCTICA  
ICE MELTING  
IS NOT A CHANGE.**

**DON'T CALL IT CHANGE, CALL IT  
CLIMATE EMERGENCY**

**#TIMEFOR**



「気候非常事態」や「気候危機」が顕著に

## 日本は記録的な台風および降雨に見舞われた

世界各地でも・・・



### 洪水

2019年前半、アルゼンチン、ウルグアイ、ブラジル南部で大洪水が発生。アルゼンチンやウルグアイでの被害は25億米ドルに上る試算されている。

### 干ばつ

インドネシアおよび周辺地域で干ばつ。

### 熱波

パリで観測史上最高の42.6℃を記録するなど、欧州各地で熱波発生。

### 火災 (wildfire)

シベリアやアラスカの地域内で、北極圏に入る地域でも火災が発生  
今なお続くオーストラリアでの火災

(出所)

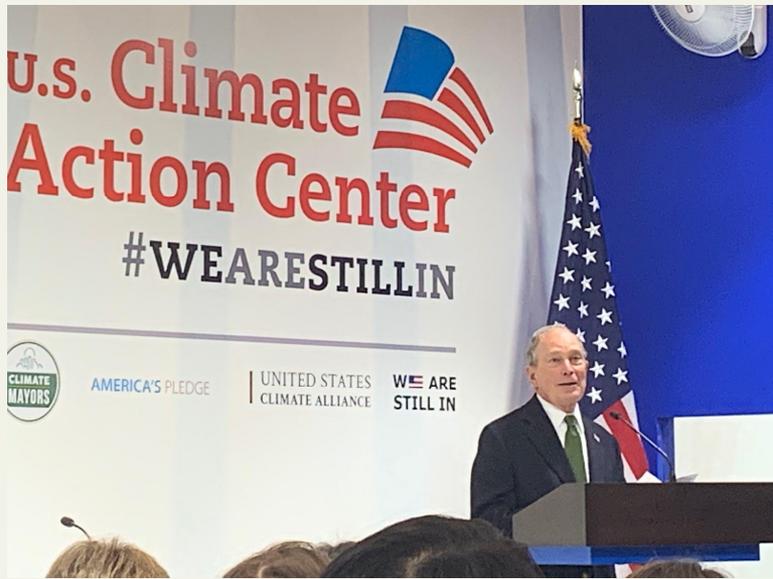
WMO (2019) 2019 concludes a decade of exceptional global heat and high-impact weather  
<https://public.wmo.int/en/media/press-release/2019-concludes-decade-of-exceptional-global-heat-and-high-impact-weather>



# 「若者」 (Youth) の台頭



# 定例化してきた非国家アクターによるサイドイベント



# 不十分だったCOP25の「答え」

---

－ 広がった乖離

# 十分でなかった「野心強化」のメッセージ

## Decision 1/CMA.2

### Chile Madrid Time for Action

*The Conference of the Parties serving as the meeting of the Parties to the Paris Agreement,*

*Acknowledging that climate change is a common concern of humankind, Parties should, when taking action to address climate change, respect, promote and consider their*

決定文は：

- ü 各国による2020年までの取り組みと、パリ協定の目標との間に **重大な乖離**があることを強調
- ü 各国に対し、2020年に国別目標を再提出する際に、その乖離を検討し、**「可能な限り最高の野心」の反映を目指すことを要請**



**削減目標の強化をストレートに求める文言ではない**

冷めた見方もできるが・・・

## 「最初から難しかった」

- 主要排出国のNDC改定への消極姿勢
  - アメリカ、中国、インド、ロシア、日本

## 「COP25のそもそもの議題ではなかった」

- これまでの流れから言えば  
ルールブック完成が主要議題
- 議題として「野心強化」という議題があるわけではなかった



世界中で対策強化の声が上がる中、  
COPの役割とは？

## グテーレス国連事務総長の呼びかけ

- ü 2019年初頭から、9月のサミットでは「野心強化」の具体案を持ってくることを呼びかけ（例：英ガーディアン紙への寄稿）
- ü 「2020年の提出時には目標を強化する」ことの宣言を、トップリーダーが行うための舞台装置として、サミットの場を設定



## 気候野心同盟（Climate Ambition Alliance）の発足

- ü COP25議長国チリの主導で発足。
- ü **73か国**が、2020年時点でのNDC強化を宣言。
- ü 加えて、**11か国**が、国内での検討プロセスを開始したと宣言。この11か国には、EU諸国が多数含まれる。
- ü 日本政府は、どちらにも含まれていない。

## それでも挑戦（2）欧州グリーン・ディールの発表

### 12月11日発表

- ü 欧州委員会による提案（COM(2019) 640 final）
- ü 「持続可能な将来に向けて、EU経済を変革する」ことを目的とする政策パッケージで、今後、順次発表していくものが殆ど。
- ü そのうちの 하나가、欧州委員会が、2020年夏までに、EUの2030年目標を現行の「90年比40%削減」から「少なくとも50%、55%に向けて強化」していく提案を提示するというもの。
- ü その他にも、同じく欧州委員会が2050年までの気候中立化（climate neutrality）ビジョンの法制化提案を2020年3月までに行うことや、産業・雇用のための「公正な移行メカニズム（Just Transition Mechanism）」設立提案を行うことなども含む。



**CAN-Europe は2030年目標を「65%削減」まで引き上げるべきと主張**



# それでも挑戦（3） 象徴的だった12月14日（土）のStocktaking Plenary

14日午前に議長が公開した決定案は、  
野心強化に関する文言をほとんどそぎ落としてしまっていた



以下の国々は、  
NDC強化の文言を入れるべきと  
改めて主張

EU／ベリーズ（AOSIS）／メキシコ／  
グレナダ／ブータン（LDCs）／ノル  
ウェー／コロンビア（AILAC）／（アル  
ゼンチン）／ネパール／シンガポール／  
スイス／ウルグアイ／（韓国）／バンガ  
ラデシュ／マーシャル諸島／



これらの国々が発言した時には会場から拍手もあがっていた。

（出所） COP25 Webcast On-demand: Informal Presidency stock-taking plenary (14 December 2019)  
<https://unfccc-cop25.streamworld.de/webcast/informal-presidency-stock-taking-plenary-2>



## それでも挑戦（４）ビジネス界も



We Mean Business

@WMBtweets

CEO of @Unilever + CEO of #IKEA + @DSM + @iberdrola + #business groups representing millions of companies: “The text on the table at #COP25Madrid is not strong enough. Match the ambition of the private sector”

@wmbtweets @iccwbo

ツイートを翻訳

午前0:37 · 2019年12月15日 · Twitter Web App

# 今後に向けて

---

– 同じ失敗を繰り返すのか？



## 今年の予定？

### いくつかの気になる政治日程

- 6月 European Council –2030年目標改定？
- 9月 EU・中国サミット
- 11月 アメリカ大統領選
- 11月 COP26（イギリス・グラスゴー）
- 未定 中国の第14次5カ年計画草案発表？



### 日本は自ら、脱炭素化をリードしていけるか？

- n 地球温暖化対策計画の改定？
- n エネルギー基本計画の改定作業のスタート？
- n 国別目標（NDC）の再提出

### COPという会議の役割の変質？



これからもご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます

<http://www.wwf.or.jp/join/>  
<http://shop.wwf.or.jp>